関川・姫川流域タイムライン 運用要領(案)

令和6年3月

国土交通省北陸地方整備局 高田河川国道事務所

【目次】

1. 流域タイムラインの目的	. 1
 流域タイムラインの運用要領の概要 流域タイムラインの概要 流域警戒ステージについて 流域タイムライン関係機関の役割 	. 2 . 2
 流域タイムライン発動、流域警戒ステージ移行・解除、及び共有の方法 流域タイムライン発動の方法 流域警戒ステージ移行・解除の方法 流域タイムライン発動、流域警戒ステージ移行・解除の共有方法 	. 3
4. 流域警戒ステージ移行時の関係機関の対応	. 8
5. 流域タイムライン関係機関との連絡	10
6. 流域タイムライン関係機関一覧	12
7. 関川・姫川流域タイムライン	13
8. 関川・姫川流域図	23

注) 本運用要領(案) では関川・姫川流域タイムラインを「流域タイムライン」と略称する。 R6.3 一部修正

1. 流域タイムラインの目的

令和3年5月に災害対策基本法が見直され、避難勧告・避難指示が一本化されることになった ほか、令和3年10月には国土交通省防災業務計画が見直されました。

これらの動向を踏まえ、河川流域での連携強化を図ることを目的に、これまで各関係機関が個別に策定してきた避難情報(勧告)着目型タイムラインを統合し、かつ、災害発生の可能性が生じた段階まで拡大した流域タイムラインとして見直しを行うものです。

2. 流域タイムラインの運用要領の概要

2.1 流域タイムラインの概要

流域タイムラインとは、台風、並びに前線による関川及び姫川の洪水を対象に、時期区分として「流域警戒ステージ $I \sim IV$ 」を設け、このステージ毎に流域全体で危機感を共有し、早期の対応を実施するための計画です。

関川及び姫川の流域については、巻末に各々の流域図を添付していますので参考にしてください。

2.2 流域警戒ステージについて

流域警戒ステージは表 2 のとおり I ~IVまであり、 I ~III は災害が発生する可能性の高い事象の進行に応じた防災対応を促すための時期区分です。IVは従来どおり水位に応じた防災対応を行うための時期区分です。流域警戒ステージが移行した場合は、各機関が流域タイムラインに記載するステージに応じた対応を実施します。

なお、流域警戒ステージは、流域タイムライン構成機関のみで共有される用語です。内閣府が 定める「警戒レベル」とは異なるものであり、より早い段階から危機感を共有し対応を促すため のものです。

2.3 流域タイムライン関係機関の役割

流域タイムラインは、流域の関係機関の連携・協力のもとタイムライン運用するものであり、 具体的には下記の役割を持ちます。

【表 1. 流域タイムライン参加機関の役割】

関係機関	役割
国・県	流域タイムラインを運用するために的確なトリガー情報を発出するとともに、 防災機関としての行動を実施する。
自治体	早期の体制構築と避難対応の実施による人的被害発生の防止を目指す。
防災機関 (国・県・他)	早期の防災対応の実施によって被害の最小化を目指す。
(住民)	早期の避難行動の実施によって人的被害発生の防止を目指す。 (住民は流域タイムラインの参加機関ではない)

3. 流域タイムライン発動、流域警戒ステージ移行・解除、及び共有の方法

3.1 流域タイムライン発動の方法

流域タイムラインは、表 2 に示す流域警戒ステージ I ~Ⅲの設定基準に該当した場合、もしくは該当すると想定される場合、高田河川国道事務所が、新潟地方気象台と北陸地方整備局と「3.2 流域警戒ステージの移行」と併せて協議(電話、もしくは WEB 会議)を行い、必要と判断した場合に発動します。WEB 会議の開催の場合は、夜間及び休日の場合も含めて、事前に高田河川国道事務所よりメールにて通知します。

3.2 流域警戒ステージ移行・解除の方法

(1) 流域警戒ステージの移行

流域警戒ステージ I ~Ⅲ移行については、それぞれのステージの設定基準に該当した場合、もしくは該当すると想定される状況において、高田河川国道事務所が、新潟地方気象台と北陸地方整備局と協議(電話、もしくは WEB 会議)を行い決定します。ステージIVは、流域タイムラインが発動している状態において基準に該当した場合、自動的に移行します。

なお、流域警戒ステージは、設定基準の性質上、Iから順番にIVまで移行せずに、タイムライン発動と同時にステージⅡやIIIに移行することもありえます。

上記の協議では、主に以下の内容について情報共有・協議・決定します。

- 1) 気象概況・予想
- 2) 流域タイムラインの発動・流域警戒ステージの移行

(2) 流域警戒ステージの解除

流域警戒ステージの解除は、気象状況等から災害が発生するおそれがなくなったと想定される場合において、高田河川国道事務所が、電話連絡により新潟地方気象台と協議し、その結果を北陸地方整備局へ確認したうえで、決定します。

3.3 流域タイムライン発動、流域警戒ステージ移行・解除の共有方法

流域タイムラインの発動・流域警戒ステージの移行は、WEB 会議及びメール通知により共有します。WEB 会議の参加対象は、関係機関及びオブザーバー機関を基本とします。また、WEB 会議は北陸地方整備局管内の他の直轄管理河川流域の関係機関との合同開催などもありえます。

WEB 会議の開催は、夜間及び休日の場合も含めて、事前に高田河川国道事務所よりメールにて通知します(出欠確認は行いません)。会議では、流域タイムラインの発動・流域警戒ステージの移行の内容に加え、関係機関全体で危機感を共有するため、主に以下の内容について情報共有します。

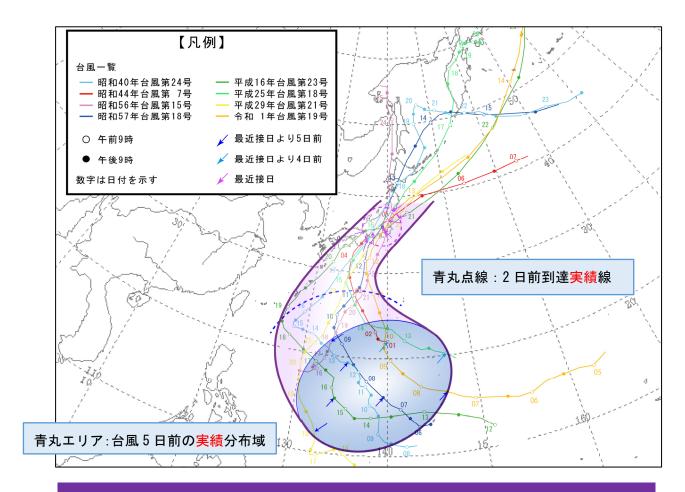
- (1) 気象概況・予想
- (2) 河川・砂防への影響
- (3) ダム操作状況及び今後の見通し(ダムの事前放流状況も含む)
- (4) 質疑·意見交換
- (5) 流域タイムラインの発動・流域警戒ステージの移行のお知らせ流域警戒ステージの解除は、メール通知により共有します。

【表2. 流域警戒ステージの設定基準】

各段階での防災行動の目標	ステージ区分		各	ステージ設定のための気象情報・水位情報(基準)	備考
段階①:災害発生の可能性があり、そ の危険性について関係機関内で 共有する段階	流域警戒 ステージ I	台》		・台風警戒区域に台風5日先の予測円が含まれ、かつ早期注意情報(警報級の可能性)「中」以上が発表されたとき・早期注意情報(5~3日先の警報級の可能性「中」以上の発	
				表情報)が発表されたとき	
段階②: 災害発生の可能性が高く、そ の危険性の高まりについて関係 機関で共有し、防災対応の方針	流域警戒 ステージⅡ	関川	台風	・気象台台風説明会が開催されたとき、かつ気象情報(新 潟県上越)の流域平均雨量が115mm/12h程度の予測となっ たとき※	
を定める段階			前線	・気象台前線による大雨説明会が開催されたとき、かつ気象情報(新潟県上越)の流域平均雨量が115mm/12h程度の予測となったとき※	
		姫川	台風	・気象台台風説明会が開催されたとき、かつ気象情報(新潟県糸魚川、長野県北部)の流域平均雨量が180mm/12h程度の予測となったとき※	
			前線	・気象台前線による大雨説明会が開催されたとき、かつ気象情報(新潟県糸魚川、長野県北部)の流域平均雨量が180mm/12h程度の予測となったとき※	
段階③: 災害発生の可能性が極めて高 く、その危険性を関係機関で共 有し、防災対応を開始する段階	流域警戒 ステージⅢ	関川	• MSM3	・前線共通〉 39時間先流域平均雨量予測情報の流域平均雨量が115mm/12h この予測となったとき	
		姫川	• MSM3	・前線共通〉 39時間先流域平均雨量予測情報の流域平均雨量が180mm/12h その予測となったとき	
段階④: 災害の要因となる事象が発生 しており、その状況を共有し、 防災対応を実施する段階	流域警戒 ステージ I V	〈台風・ ・流域[は通〉 位観測所で水防団待機水位に到達したとき	

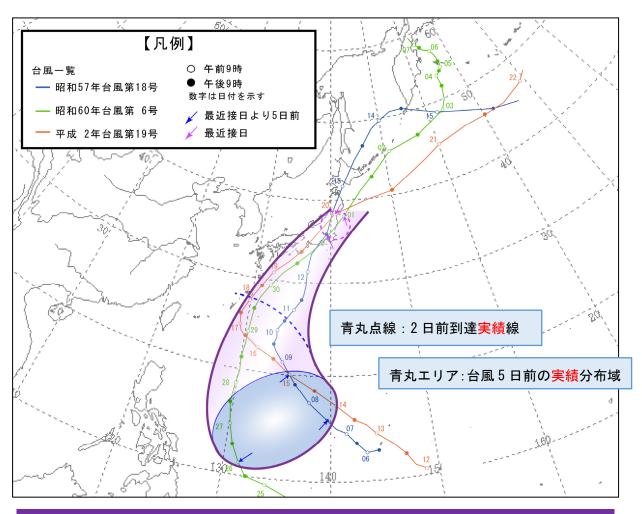
^{※1.12}h 予測値が入手できない場合は、気象台発表の気象情報の24時間予想降水量(上越)を代用して判断します。

^{※2.} 流域警戒ステージ設定基準は、既往洪水における台風進路及び実績雨量等から決定しています。



紫色エリア: 流域タイムライン台風警戒区域 このエリアに台風 5 日前予測円の一部が含まれる場合を、流域警戒ステージ I (台風)の設定基準 とする

【図1. 関川流域の台風警戒区域】



紫色エリア: 流域タイムライン台風警戒区域 このエリアに台風5日前予測円の一部が含まれる場合を、流域警戒ステージ I (台風)の設定基準 とする

【図2. 姫川流域の台風警戒区域】

流域タイムラインの発動・流域警戒ステージの移行の通知メール例を以降に示します。

■件名:【○川流域タイムライン】台風第○号に伴う流域警戒ステージ○への移行(例)

■本文

○川 (緊急対応) 流域タイムライン関係機関の皆様へ

台風第○号について、

○月○日○時○分より「○川流域タイムライン」を発動し、

「流域警戒ステージ〇」に移行しました。

関係機関の皆さまは、流域警戒ステージ○に記載されている防災対応を実施してください。

■件名:【○川流域タイムライン】台風第○号に伴う流域警戒ステージ○から○への移行(例)

■本文

○川流域タイムライン関係機関の皆様へ

台風第○号について、

○月○日○時○分に、「○川流域タイムライン」「流域警戒ステージ○」から「流域警戒ステージ○」 へ移行しました。

関係機関の皆さまは、流域警戒ステージ○に記載されている防災対応を実施してください。

■件名:【○川流域タイムライン】台風第○号に伴う流域警戒ステージ解除(例)

■本文

○川流域タイムライン関係機関の皆様へ

今後、大雨の恐れがなくなったため、○月○日○時○分に流域警戒ステージを解除しました。

※流域警戒ステージIVへの移行による通知は行いません。

4. 流域警戒ステージ移行時の関係機関の対応

流域警戒ステージに移行したときは、別紙、関川・姫川流域タイムラインに記載されている防 災行動を実施します。このときの防災行動の目標は表 4 に示すとおりです。

【表4. 流域警戒ステージの区分】

段階	ステージ区分	関係機関の防災行動の目標
段階① (災害発生の可能 性がある)	流域警戒 ステージ I	災害の危険性に注意を向ける ・災害発生の危険性があることに注意を向け、組織内で共 有する段階
段階② (災害発生の可能 性が高い)	流域警戒 ステージⅡ	防災対応の方針を決定する ・災害発生の危険性が高まってきたことを組織内で共有 し、防災対応の方針を定める段階
段階③ (災害発生の可能 性が極めて高い)	流域警戒 ステージⅢ	防災対応を開始する ・災害発生の危険性がさらに高まったことを組織内で共有 し、防災対応を開始する段階
段階④ (災害の要因とな る事象が発生)	流域警戒 ステージ IV	上下流を意識した防災対応を実施する ・流域での水位上昇が始まり、防災対応を実施する段階

5. 流域タイムライン関係機関との連絡

関係機関との連絡は、表 5 に示すとおり行います。 また、各流域の連絡系統は、それ以降に示すとおりです。

【表 5① 関川流域の連絡の種類】

段階	種類	対象機関
タイムライン発動の決定 ステージ移行の決定	電話もし くは WEB 会議	新潟地方気象台 北陸地方整備局【主催】 高田河川国道事務所【(主催) 発議】
ステージ解除の決定	電話連絡	新潟地方気象台 高田河川国道事務所【発議】
タイムライン発動の周知 ステージ移行・解除の周知	WEB 会議・ メール	関川流域タイムライン関係全機関

※タイムライン発動及びステージ移行の決定段階における WEB 会議について、北陸地方整備局が参加しない場合は、高田河川国道事務所が主催する。

【表 5② 姫川流域の連絡の種類】

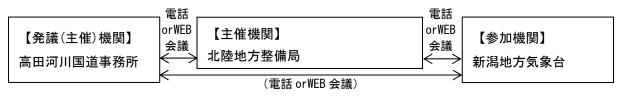
段階	種類	対象機関
タイムライン発動の決定	電話もし	新潟地方気象台
ステージ移行の決定	くは WEB	北陸地方整備局【主催】
ステージを打め伏足 	会議	高田河川国道事務所【(主催) 発議】
ステージ解除の決定	電話連絡	新潟地方気象台 高田河川国道事務所【発議】
タイムライン発動の周知 ステージ移行・解除の周知	WEB 会議・ メール	姫川流域タイムライン関係全機関

※タイムライン発動及びステージ移行の決定段階における WEB 会議について、北陸地方整備局が参加しない場合は、高田河川国道事務所が主催する。

なお、各機関の緊急時に使用する電話番号、担当者のお名前、メールアドレスは適宜更新が必要なため、年度が変わってから出水期までの間に連絡先の更新に関する調査を実施します。また、その他の期間に異動等で更新が必要になった場合は、高田河川国道事務所へ連絡するものとします。

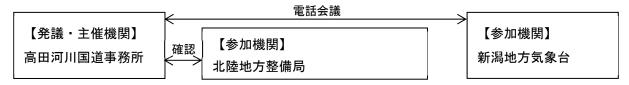
5.1 関川流域の連絡系統図

(1) 流域タイムライン発動、ステージ移行の決定時

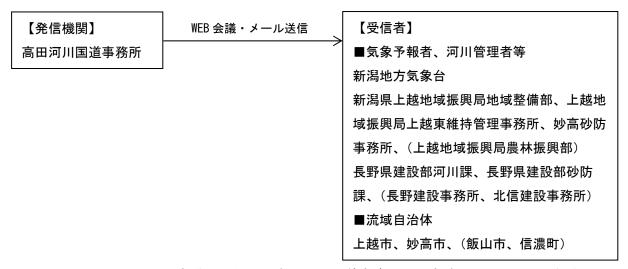


※WEB 会議の開催の場合は、高田河川国道事務所より事前にメールにて通知する。 北陸地方整備局が参加しない場合は、高田河川国道事務所が主催する。

(2) ステージ解除の決定時

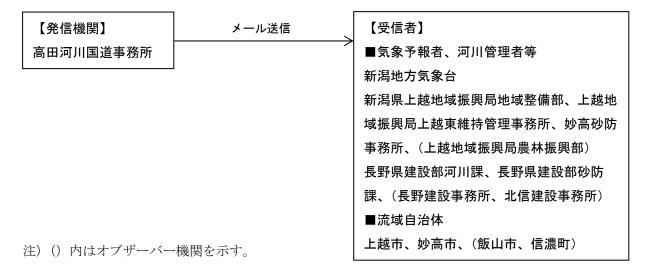


(3) 流域タイムライン発動、ステージ移行の周知

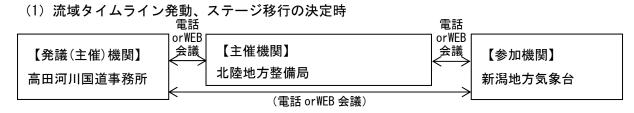


※WEB会議の開催は、高田河川国道事務所より事前にメールにて通知する。

(4) ステージ解除の周知

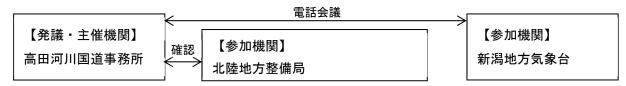


5.2 姫川流域の連絡系統図

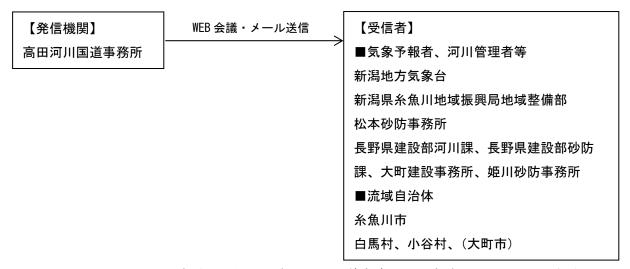


※WEB 会議の開催の場合は、高田河川国道事務所より事前にメールにて通知する。 北陸地方整備局が参加しない場合は、高田河川国道事務所が主催する。

(2) ステージ解除の決定時

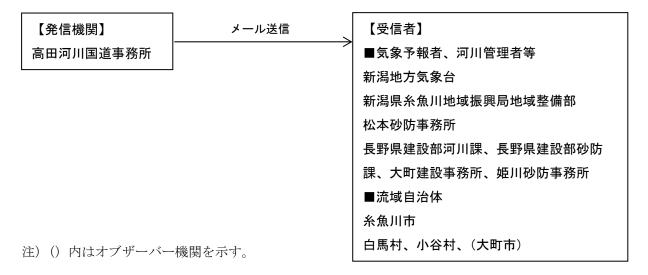


(3) 流域タイムライン発動、ステージ移行の周知



※WEB会議の開催は、高田河川国道事務所より事前にメールにて通知する。

(4) ステージ解除の周知



6. 流域タイムライン関係機関一覧

【表 6①. 関係機関一覧】

機関名	流域内での主な立場
気象庁新潟地方気象台	気象予報者
新潟県上越地域振興局地域整備部	関川河川管理者 (正善寺ダム管理者)
新潟県上越地域振興局地域整備部上越東維持管理事務所	関川流域内砂防事業者、保倉川河川管理者
新潟県上越地域振興局妙高砂防事務所	関川流域内砂防事業者
新潟県糸魚川地域振興局地域整備部	姫川流域内砂防事業者、姫川河川管理者
長野県建設部河川課	関川・姫川流域内河川事業者
長野県大町建設事務所	姫川河川管理者
長野県建設部砂防課	関川・姫川流域内砂防事業者
長野県姫川砂防事務所	姫川流域内砂防事業者
上越市	関川流域内自治体
妙高市	関川流域内自治体
糸魚川市	姫川流域内自治体
白馬村	姫川流域内自治体
小谷村	姫川流域内自治体
国土交通省北陸地方整備局松本砂防事務所	姫川流域内砂防事業者
国土交通省北陸地方整備局高田河川国道事務所	関川・姫川河川管理者

【表 6②. オブザーバー一覧】

機関名	流域内での主な立場
飯山市	関川流域内自治体
信濃町	関川流域内自治体
大町市	姫川流域内自治体
新潟県上越地域振興局農林振興部	関川流域内治山・林野事業者(笹ヶ峰ダム管理者)
長野県長野建設事務所	関川流域河川管理者
長野県北信建設事務所	関川流域河川管理者
国土交通省高田河川国道事務所(道路管理第一課)	関川・姫川流域内直轄国道管理者

7. 関川・姫川流域タイムライン

8. 関川・姫川流域図

7. 関川・姫川流域タイムライン

関川流域タイムライン概要(案)

目的	流域警戒ステージ	基準	新潟地方気象台 (気象情報等)	高田河川国道河川事務所	新潟県上越地域振興局地域整備部 長野県建設部河川課ほか	上越市 妙高市
危機感共有・ 防災行動準備	(約5日〜3前) ステージ I	台風警戒区域に 台風5日先の予 測円が含まる・早 期注意情報(警 報級の可能性) 「中」以上			水防体制の確認	タイムライン発動、流域ステージ移行の確認・共有(web会議、メール) 気象情報の収集 消防団への情報提供 水門管理者への情報提供
		説明会が開催され たとき、かつ気象情 報(新潟県上越) の流域平均雨量が 115mm/12h程 度の予測となったと き	新潟地方気象台、北陸地方整備局、高田河川国道事務	所 電話もしくは合同web会議 流域ステージ移行のweb会議、メール配信 正善寺ダム、笹ヶ峰ダムの事前放流の予測降雨量確認・体制 (上越地域振興局・北陸農政局) 災害対策用機械等出動体制の確保		流域ステージ移行の確認・共有(web会議、メール) 河川、水路等点検準備 消防団への情報提供
	(約39時間前) ステージⅢ	MSM39時間先 流域平均雨量予 測情報の流域平 均雨量が 115mm/12h 程度の予測となっ たとき	新潟地方気象台、北陸地方整備局、高田河川国道事務	所 電話もしくは合同web会議 流域ステージ移行のweb会議、メール配信 リエゾン体制の確認 災害協定業者の体制確認 水門・樋門・排水機場操作員の体制確認	正善寺ダムの事前放流及び目標水位維持放流	流域ステージ移行の確認・共有(web会議、メール) 消防団への情報提供・体制確認 排水ポンプ設置及び業者待機指示
防災行動	レベル2	氾濫注意水位		氾濫注意情報発表 防災体制(注意、警戒)への移行 氾濫注意水位到達に伴う情報伝達(水防警報等) <mark>水門、樋門、排水機場等の操作</mark> 水防資機材の協力 出水時巡視	氾濫注意情報発表 防災体制への移行 氾濫注意水位到達に伴う情報伝達 水門、 <mark>樋門、排水機場等の操作</mark> 水防資機材の協力	住民への注意喚起 避難所開設準備 <mark>樋門等の操作</mark>
	レベル3	避難判断水位	大雨警報(土砂災害・浸水害)、洪水警報発表(随時)	氾濫警戒情報発表 防災体制(警戒) への移行 避難判断水位到達に伴う情報伝達(水防警報等)	氾濫警戒情報発表 避難判断水位到達に伴う情報伝達 出水時点検、ホットライン	避難所開設 自治会長連絡 高齢者等避難 消防団出動
	レベル4	氾濫危険水位	顕著な大雨に関する気象情報の発表(※随時)	氾濫危険情報発表 防災体制(非常) への移行 ホットライン、リエゾン派遣、災害協定業者連絡 氾濫危険水位到達に伴う情報伝達(水防警報等) 防災エキスパート連絡	氾濫危険情報発表 ホットライン リエゾン派遣 氾濫危険水位到達に伴う情報伝達 災害協定業者連絡	ホットライン 自治会長連絡 避難指示 消防団避難広報、避難誘導
	レベル5 禁発生		首長ホットライン	氾濫発生情報発表 ホットライン 被害状況の把握、災害対策用機械等出動 被害状況、調査結果等の公表 調査委員会設置 応急復旧作業	氾濫発生情報発表 ホットライン 氾濫発生に伴う情報伝達 ※被害発生の場合は高田河川国道事務所と同様の状況 把握・復旧作業にあたる)	ホットライン <mark>避難誘導完了、避難情報発令</mark> 緊急輸送路確保 <mark>外部支援要請</mark> 消防団退避完了

関川流域タイムライン総括表(案)

響紙レベル5相当※	(沿游等生情報)				対応するものではない	警戒レベル 5 相当※ (氾濫発生情報)	連上 1 1 1 1 1 1 1 1 1	■国管理区間での70盗路発生に伴う情報 ・ 元後 ・ 元後編集(大統)発表 ・ 九盗案生情報務要(次機情報を含) 70 / (3 外 子 機 所 列 川) 等) ・ 禁急选報メール ※ 無急选報メール		(監 ■県管理区間での氾濫発生に伴う情報 (石産 ・氾濫発生情報発表(決水子報河 川)(広 ■国からの氾濫発生情報の報道機関等 への伝言	- - -	- - 4	<u> </u>	■遊離情況等 ● 遊離情報発令の傾討(集急安全確 ・洪水等災害発生情報収集 ・遊離情報発令判断 (指揮木制)災毒対策本部設置 ■ (指揮木制)災毒対策本部設置 ■ (指揮木制)災毒対策本部設置 ■ (指揮木制)災毒対策本部設置 ■ (指揮木制)災害対策本部設置 ■ (指揮木制)災害対策本部設置 ■ (指揮本制)災害対策本部設置 ■ (指揮本制)災害対策本部設置 ■ (指揮本制)災害対策本部設置 ■ (指揮本制)災害対策本部設置 ■ (指揮本制)災害対策本部設置 ■ (指揮本制)災害対策本部設置 ■ (表電光情報の寒表 ■ (表電光明報の寒表
成警戒ステージIV (水位上昇) 警戒レベル4相当※	(氾濫合陝情報)				情報に基づため、流域警戒ステージと対	警戒レベル4相当※ (氾濫危険情報)	情報を伝える 1 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	■ 節災後株制(非常) への移行 ■ 国際理区間での73紫冷族水佐到達 (平 が一種低元達 ・ 74の監視(状況)発表 ・ 72紫冷咳・ 10紫/紫冷水 74線の川) ・ 74位 74側の提供(気象台、県、市町村・ ・ 第急速報メール ■ 市町村長へのポットライン(以後、継 ・ 33	■興管理区間での氾濫危険水位到達 「产性・計構在達」 ・氾濫危険情報発表(決大予報) 」 」 」 」 」 」 」 」 」 」 」 」 」 」 」 」 」 」 」	■県管理区間での氾濫合験水位到達 に伴う精軟配達 ・氾濫合験情報発表(決大予報) 川川 画加らの水防罐報・囲洪水予報の伝 流 ・氾濫注意情報の報道機関等への伝達 ・氾濫注意情報の報道機関等への伝達 ・氾濫注意情報の報道機関等への伝達	■土砂災書警戒情報の発出 (気象台 と協働)	■土砂災害警戒情報の発出(気象台と協働)	■土砂災害警戒情報の発出 (気象台と協働)	■ 選出情報等令の核討(選維指示) - 第2個情報等令の核討(選維指示) - 第2回11次位等情報収集 - 北西沙島連勝 - 大- 小配信等住居側加 - 大- 小配信等住居側加 - 大- 小配信等住居側加 - ボルンは「選雑指示」の第令 - 河川大仏等情報収集 - 河川大仏等情報収集 - 河川大仏等情報収集 - 河川大仏章情報収集 - 河川大仏章情報収集 - ボルンは「選雑指示」の第令 - エットラインの製造(以後、雑務) - ボルンは「選雑指示」の第令 - エットラインの製造(以後、雑務) - ボルトラインの製造(以後、雑務)
流域離れ (水((27.紫瓣形情報)	ムで到達したとき	とを、各機関で確認		対応を実施する ※警戒レベルの移行の時期は、各自治体ごとに発表される情報に基づくため、	警戒レベル3相当※(氾濫警戒情報)	 企業制情報の発表支援や遊離行動を促 ■ Lyガー情報の発表 (業報発表) ・	■ 防災体制(警戒) への移行 ■ 国管理区間での遊離判断水位到道 に伴う情報伝達 ・水防警報(核茂)落表 ・込監警 成情報発表(林水予報到川) ・沿監警 成情報発表(林水予報到川) ・水位予測の提供(気象台、県、市町) 等)	■ 具管理区間での透離判断水位到達 に伴う情報伝達 ・72監量、成有情報表表(抹火予報の 月11) 第 ■ 国か5の水防警報・国洪水予報の伝 達 ・水防震報の発達機関等への伝達 ・水防震報の発達機関等への伝達 ・72整注意情報の軽速機関等への伝達	■原管理区間での遊離判断水位到達 化学情報伝達 72整業 成情報発表 (洪水予報河 11) ■ 国からの水防警報・国洪水予報の伝達 ■ 国からの水防警報・国洪水予報の伝達 ※ 12整注 意情報の報道機関等への伝達 22を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を	断災体制(警戒)への移行土砂災害警戒情報の検討	■防災体制(警戒)への移行 ■土砂災害警戒情報の検討	■防災体制(警戒)への移行■土砂災害警戒情報の検討	対決を共有し、早め早めの遊戯情報3
※原理の代えば贈りの光響を図過米	(幻然汗鹭情報)	消域内の水位観測所で水防団待機水も	避難や現場対応が必要な水位に達したことを、	(伝達なし、各自治体で水位等を判断)	上下流を意識した防災対応を実施する ※警戒レベルの移	水防団待機水位~警戒レベル2相当※ (沢温注意情報)	条の変化に対応して危機感を共有し ドリガー情報の発表(注應網発表) に無・洪水注意報の発表 気勢情報の密表(継続的に発表さ ちもの 高温値設子 特別意義(は砂災書)・洪水警報 次前警報(上砂災書)・洋水警報 後対	防災体制 (注意, 職成) への移行 国際理区間での沿流注意水位到達 場合・機匠(監理) (対策報(传統、出勤)発表 大序警報(传統、出勤)発表 区窓注意情報を表(は大・系級河川) 化立予測の提供(気象台、県、市町川)	的災体制への終行 県管理区間での沿艦注動水位到達 中5/情報伍達 12整注範備網線表 (洪水子報河 国からの水份警報・国洪水子報の伍 下的票報の報道機関等への伍達 下的	■防災体制への移行 ■ 農管理区間での氾濫注意外位到達 に伴う情報伝達 1.10 1		1		上下流の気象・水位状況や也機関の対応 ■河川、水位情報の収集・組織内共有 の開始 ■水位が外切団得機水位に達し72 一部が力が切団得機水位に達し72 一部が力が切団を構作。対応を行う に都水的が対す。 (指揮本部)災害応急対策(牧助・医 療・能効 準備 (指揮本部)災害応急対策(牧助・医 療・能効 準備 (指揮本部)災害が急対所(教・継続) 一部別下が付得級を成しる。 一部別下が付後、継続) 一部別下が付金を記る。202 一部別下が付金を記る。202 一部別下が付金を記る。202 一部別下が付金を記る。202 一部別下が付金を記る。202 一部別が大の団の機・組織の 一部の発生が予想されて達、対応を行う 一部を発生が予想されて達、対応を行う 一部を発生が予想されて達、対応を行う 一部を発生が予想されて達、対応を行う 一部を発生が予想されて達、対応を行う 一部を発生が予想されて達、対応を行う 一部を発生が予想されて達、対応を行う 一部を発生が予想されて達、対応を行う 一部を発生が一端を記する。202 一部を発生が一端を記する。202 一部が対かが一端を記する。202 一部を発生が一端を記する。202 一部を発生が一端を記する。202 一部を発生が一端を記する。202 一部を発生が一端を記する。202 一部を発生が一端を記する。202 一部を発生が一端を記する。202 一部を発生が一端を記する。202 一部を発生が一端を記する。202 一部を発生が一端を記する。202 一部を発生が一端を記する。202 一部を発生が一端を表する。202 一部を発生が一端を表する。202 一部を発生が一端を表する。202 一部を発生が一端を表する。202 一部を表する。202 一述を表する。202
流域警戒ステージ皿 (雨量予測)	MSM39時間先活線平均原量予測停報の新潟県上 軽での結場平均問量予測が115m/12h密度となった。	MSM39時間先流域平均雨量予測情報の新潟県上 越での流域中均雨量予測が115mm/12h程度となった とき	जे	活域警戒ステージⅢとする画知 活域平均雨 量予測情報等の提供	防災対応を開始する	1	成才大き領域,時間帯と現象の規模間を伝える トリガー情報の発表 自動業経面(第人と日存までの予報) 台間よれて24時間以内に台風になると予想される 台間よれて24時間以内に台風になると予想される も間を大けて34時間以内に台風になると予想される 低気圧の実況,予報等) 当前他性とに「前「中」と関階で発表) 当前他性と「前」「中」と関階で発表) は34時間、高田河川国連署務所との臨話 は34時間、高田河川国連署務所との電話 は34時間、36時間、36時間、36時間 内が大理 一個、不開設の会域が「開催(※随時) 「周」(37時間、28時間、※随時) 「周」(37年間、28時間、※随時) 「周」(37年間、28時間、※随時) 「周」(37年間、28時間、※随時) 「周」(37年間、28時間、※随時) 「周」(37年間、28時間、※随時) 「周」(37年間、28時間、※随時) 「周」(37年間、28時間、※随時) 「周」(37年間、28時間、※随時) 「周」(37年間、28時間、※随時) 「周」(37年間、28時間、第一部)「第一部門」 「18時間、28時間、第一部」「第一部門」 「18時間、38時間、第一部」「18時間、38時間、38時間、38時間、38時間、38時間、38時間、38時間、3	消渉線タイムラインの管理 17度地方撃偏高、気象台との職話もくはWEB会議 129メルカイン策型、農林ステージ等行の設定 済域警戒ステージ等行のWEB会議及びイル配信 11歳等タム、倍が導り為等の事制政派の再続収集 12歳	清域醫戒ステージの確認,共有 正善寺分心、笹ヶ峰分域等分人事前放流及び目標 化放維持放流(以後、継続) 市町村への情報提供 市町村への情報提供	■消域盤視ステージの確認・共有■中町村への支援・市町村への情報提供	■治域警戒ステーツの確認・共有	■流域警戒ステージの確認・共有	■流域警戒ステージの確認・共有	庁内体制を強化し、感染症対策を踏まえた選 類所制設・運営と早級強傷の呼びかりを目指 す 所は緩緩成大子ーンの確認・共有 ・ 中即要点体制構築 ー 在民への職 成甲が分が・情報提供 ・ 液燃所開設で同りた打合せ ・ 病体影響、
各タイムラインステージの移行基準設定 流域警戒ステージエ (台風・前線・雨量予測)	気象台台風路時会が開催されたとき、かつ気象情報 所場果上起の流線率中間報音を指す。 程度なおえたき(127年海側が3年できない場合は、 気象台第の気象情報の24年光路が出	を代用) 気象台前線による大雨説明会が開催されたとき、かつ 気象情報(新潟県上越)の流域平均雨量予測が M 2115mm/12円程度とかったを(121字部値が入事でき 起 説い場合は、気象台発表の気象情報の24h予規略かと 置(上越)を代用)	予想される雨量が希域に災害をもたらすか判断し、伝達を	滞域警戒ステージョとする通知 台風・大雨説明会の情報、雨量予測情報等の提供	防災対応の方針を決定する 各タイムラインステージの行動内容	1	南に対する憲戒時期を周知し、各機関の体制のは を促す 1.0万一情報の発表 1.0万一情報の発表 1.0万一情報の発表 1.0万一情報の発表 延気圧の実況、予報等) 近気圧の実況、予報等) 1.0万分割が、予報等) 1.0万分割が、予報等) 1.0万分割が、予報等) 1.0万分割が、予報等) 1.0万分割が、予報等 1.0万分割が、予報等 1.0万分割が、予報等 1.0万分割が、予報等 1.0万分割が、予報等 1.0万分割が、一分割が、一分割が、 1.0万分割に 1.0万分割が、 1.0万分割が、 1.0万分割が、 1.0万分割が、 1.0万分割が、 1.0万分割が、 1.0万分割が、 1.0万分割に 1.0万分割が、 1.	海域タイムラインの管理 12型也方整備局、気象台との電話もしくはWEB会社 129年人ようイク系数。 端れステージ移行の決定 市域業元ステージ等行のWEB高減及パケール配信 正該等 45、市本峰メルの事前政流の予測程制 認・態勢道器(上越地域振興局・北陸農政局)	■流域器状ステージの確認・共有 ■気象情報の収集 ■正善与人の事前放流準備・基準雨量に違し次第 7月 開修(は陸震政局と開発の元性・経外人等の事前放 済準備・基準而量に遂し次第別台) ・・市町村への情報提供	■游域器成ステージの確認・共有 ■ 気象情報の収集 ■ 市町村への債報提供 ・市町村への債報提供	■消域警戒ステージの確認・共有	■消域警戒ステーツの確認・共有	■治域職成スケーツの確認・状态	中野魔戒体制を構築し、魔姿症対策も考慮し 高地震瓶ステージの確認・共有 中野魔戒体制準備・構築 中野魔球体制準備・構築 中野魔球体制準備・構築 中野魔球体制準備・構築 東野魔術を開業性有 重野魔術を開業性有 重難所開設準備 東野魔術を開業性有 重野魔術を開発性有 重野魔術を関係を 中野魔球な関係 東野魔球な関係 東野魔球な関係
各タイムライン 流域器械ステーシェ (台風・前線予測)	白風警戒区域に台風5日光の予測日が含まれ、かつ 早期注意情報(警報級の可能性)「中」以上が発表されたき	早期注意情報 (5~3日先の警報級の可能性「中」以 上の発表情報) -	台風進路、前線の状況を見て流域として警戒 し、今後の状況に留意することを伝達する	溶域警戒ステージ1とする通知 白風進路予測情報、早期注意情報(警報級の可能 性)等の提供	災害の危険性に注意を向ける各タイムラ	1	(金)	■ 実験情報の収集・記憶内計権の開始 ■ 派域タイカラインの管理 ・1と歴史ン整備局、気象ともの認定してはWED会議 に、 「よわタイムライン発動、職様ステージ移行の決定 及びメール配置 を表する。 は、 は、 は	■清域臺戒大于一50種間。共有 ■気勢情勢の厚集・組織内柱等の開始 ■災害対応状況の収集内容・伝達の確認 ・出水馬及び災害発生時の国交省等への情報伝達事 ■市町村への支援	■消燥量成次于~2の確認・共有 ■気管情報の提集的管・促進の確認 ■質量対点状況の収集内容・伝達の確認 ・出水時及じ災需聚生時の国交省等への情報伝達事 項、連絡先等の確認 ■市町村への情報提供	■流域警戒ステージの確認。并有 ■気象情報の収集、組織力共有の開始	■流域警戒ステージの確認・共有■気象情報の収集・組織内共有の開始	■流域警戒ステージの確認、共有 ■気象情報の収集・組織内共有の開始	
海域タイムラインステージ	到性	発動/移 報 行職維 前職件 前線件	Eleb	- プタリがり 石建内容 伝達情報	行動目標	職成レベアの移行		海国川应田屋	Nガー情報発出 河川情 上越地域振興 報を発 同地域振興 信する 同地域整備的	表 医	上越地域振興 局地域路備部 上越東維持管 里事務所	生砂災 審のJス 上越地域振興 分情報を 局砂高砂防事 発信す 務所	長野県建設部砂防課	在 在 医 医 医 医 医 医 医 医 医 医 医 医 医 医 医 医 医 医

関川流域タイムライン総括表(案)

		1			ri ops		
流域タイムラインステージ	ンステージ	流域警戒人テージ1(台風・前線予測)	ボ筑警戒人テージⅡ (台風・前線・雨量予測)	流域警戒人アージ皿 (雨量予測)		ボ吸ぎ 祝人アーシ」V (水位上昇)	
業成レベルの移行	0移行	ı	ı	I	米防団帝機会位へ軍戒レベル2相当※ 離成レベル3相当※ (氾濫注意情報) (氾濫性)	警戒レベル4相当※(氾濫危険情報)	響成レベル5相当※ (氾濫発生情報)
20年1780 文等市	台風性	台編等表区域に台風5日先の予測円が含まれ、かつ 早期注意情報(電報級の可能性)[中J以上が発表 されたとき	気条台台風級明会が開催されたとき、かつ気象情報 (解活戦、上越)の活場平均雨量予測が15mm/21 程度さならたさ(12h予測値が入手できない場合は、 気象台発表の気象情報の24h予想解水量(上越) を代用)	MSN39時間先添越平均雨量予測情報の祈潟県上越での流域平均雨量予測が1.15m/1.2h程度となったとき			
光型/移 行基準	前線性	早期注意情報 (5~3日先の警報級の可能性「中」以上の発表情報)	気象台前線による大電路明会が開催されたとき、かつ 気象情報(新活県上越)の流域平均雨電子測が 1159年172日ではでなったとき(120千労運が入手でき 森い場合は、気象台発表の気象情報の241予提際水 と 瞳(上越)を代用)	SM39時間先流域平均雨鹽予測情報の新潟県上 までの流域平均雨鹽予測が115m/12h程度となった き	済域内の水位観測所で水的団洛機水位に到達したとき		
Į,	水位情報	1	1	1			
ステージ移行時の	E	台風進路、前線の状況を見て流域として警戒 し、今後の状況に留意することを伝達する	予想される雨量が流域に災害をもたらすか判断し、伝達	943	遊難や現場対応が必要な水位に違したことを、各機関で確認		
伝達内容	伝達情報	流域警戒ステージ1とする通知 台風進路予測情報、早期注意情報 (警報級の可能性)等の提供	流域警戒ステージエとする通知 台風・大雨説明会の情報、雨量予測情報等の提供	流域警戒ステージ皿とする通知 流域平均雨量予測情報等の提供	(伝達なし、各自治体で水位等を判断)		
行動臣	標	災害の危険性に注意を向ける	防災対応の方針を決定する	防災対応を開始する	上下流を意識した防災対応を実施する		
**	行動目標	組織内の人員体制の調整を図り、水防団等関係者と も危機感を共有し、資機材等の準備・点検を開始する	関係機関・外部組織とも機械の共有を図り、今後の 対応方針を決定する	体制を強化し、早期に警戒を要する箇所も含めた危険 個所の確認を開始する	確実な水防・復旧活動の実施と関係機関同士の支援に努めるとともに人命確保に努める	催保に努める	
	高田河川国道 事務所	■ 気象情報の収 ■ 施設 (水門・排 絡態勢の確立	≅	海武器 宫(体制)衛昆器 非水機場操作員(0体制)確認	■河川水位情報の収集・組織内共有 ■出水時点検(巡視) の開始 ■大門、福門、東大機場等の操作 ■広内板の要請(防災エキス/(-ト) ■大防養機材の協力・災害対策用機 電子防養機材の協力・災害対策用機 器等出勤(市町村からの要請)(以	■リンシの所慮 ■災毒協定業者運絡 ■	■緊急復因、提防調查委員会設置 ■被無处況の把握 等 不
	上越也域振興 局地域整備部	電流機器成大子之的確認。并有 電氣等情報の収集。組織內共有の開始 無大衛に対する配備体制の預知 中國係機関等於公价構程提供の確認の開始 系象行了分析過模。 系象行了所為限度。 三非規範の執行確認 ■水仿体制の確認 (資材、人員・觀測機器)	■がは影響スカニッの確認・共有 ■水体制の再確認 (資材・人員・観測機器) の再確認 ■水位・雨量・カメラの稼働状況確認	確認 3機内共有の開始 9体制確認	■河川水位情報の収集・組織内共有 — の開始。 ■水門、福門、排水機場等の操作 ■水門、海門、海門、海門、 ■水門、海門、 ■水門、海門、 ■水門、 ■水門、 ■水門、 ■水門、 ■北門、 ■北門、 ■北門、 ■北門、 第二、 第二、 10、後、 第第) (以後、維熱) ■清町村に編配をする (以後、維納) ■現地状況把握 (以後、維納)	■ リエソンの売業 ■ 災害協定業者連絡	- (被害発生の場合は高田河川国道 事務所と同様の状況把握・復日作業に あたる)
広域後 車が増 下される 水防・復 場合の 日 日 米防対 系 米防対 系 米防対 系 米防対	上越東維持管理事務所	 新地議服式テーシの確認・共有 ・ 表情 精砂の技術 自動 内 ・ 大雨に対する配備 体制の周知 ・ 大雨に対する配備 体制の周知 ・ 関係機関等からの情報提供の確認の開始 ・ 関係機関等からの情報に供の確認 ・ 工事財場の状況確認 ・ 工事財場の状況確認 ・ 、 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	■流域震波大手-20項程。共有 ■大的体制の頂荷器 (資材・人員・報知機器・0再確認 ■大位・雨量・カメラの條載状況確認	■ 消域器成分下一学の確認・共有 本化的体制の再確認 (資本力、具書 認知機器) の再確認 ・ 商業・介別、 市職・情報の収集・組織の共有の開始 ・ 以書が大相の確認 ・ 災害協定、業者の本用確認 ・ 火害が下 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	■河川水位情報の収集・組織内共有 — の開始 アルボ (リエンンの示論	- (被書発生の場合は瀬田河川国道 事務所と同様の状況把握・復田作業に あたる)
上砂災 書に関 ****	上越地域振興 局妙高砂防事 務所		■流域警戒ステージの確認・共有■水位・雨量・カメラの稼働状況確認■防災対応の連携調整	■流域警戒ステージの確認・共有 ■防災対応の連携調整 	■河川水位・土石流情報の収集・組織 内共有の開始 ■野地状況四盟(以後、継続)	1	
	長野県建設部 砂防課	■流域警戒ステージの確認・共有■気象情報の収集・組織内共有の開始■大雨に対する配備体制の周知	■流域警戒ステージの確認・共有■水位・雨量・カメラの稼働状況確認■防災対応の連携調整	■流域警戒ステーツの確認・共有■防災対応の連携調整	■河川水位·土石流情報の収集·組織 - 内共有の開始 ■現地状況把握(以後、總統)		ı
	忙 類 刊	■游域職及另一岁の確認。共有 政策情報の以表。指像的共和の開始 ■ 維約回(大杉宮回)人の情報提供 ・市役所名対策部、消防回事人の情報共有 ・市役所名対策部、消防回事人の情報共有	■消処離形式ラーツの確認・共有 ■ 河川、大路等点後 準備 ■ 消防団(大佐河)への有発提供 ■ 消防団(大佐河)への有発提供	■消処離成分下		■消防団強雄広報、遊離誘導 ■消防団活動への注意機匠 (命を守る行動の徹底)	a 遊嫌完了 m 聚烯烯基酚 必可確保 m 和 的 的 是
	は 生 生	■流域震成次于~≥の確認。共有 ■ 気候情報の収集・組閣の共者の開始 ■ 消防団(水防団)への情報提供 ・市役所各対策郎、消防団等への情報共有	■游域離れステーツの確認・共有 ■ 当川、大路等点改革 編 ■ 維防団(み(弥団)への再発提供 ■ 維防団(み(弥団)への再発提供	電消域離成ステージの確認・共有 一部)に、外路等点移動・ 一部での一の再報に表、連絡体制の確認、資機材等 の準備 一番が四への活動体制の再確認と指示 一番が四への活動体制の再確認と指示 一系では操作等の準備	■河川水位情報の収集・組織力共有 ■ 消防団巡視・水防活動・広報活動・ の開始	- 消防回途難広報、遊離誘導 - 消防回活動への注意喚起 (命を守 8行動の徹底)	事 随難完了 ■ 樂學·梅松路の過行確保 ■ 外部交援要請 ■ 消防団思避売了

姫川流域タイムライン概要(案)

目的	流域警戒ステージ	基準	新潟地方気象台 (気象情報等)	高田河川国道河川事務所	新潟県糸魚川地域振興局地域整備部 長野県建設部河川課ほか	糸魚川市 白馬村、小谷村
危機感共有・ 防災行動準備	(約5日〜3前) ステージ I	台風警戒区域に 台風5日先の予 測円が含まる・早 期注意情報(警 報級の可能性) 「中」以上			水防体制の確認	タイムライン発動、流域ステージ移行の確認・共有(web会議、メール) 住民へ警戒呼びかけ 避難所開設事前準備 消防団への情報提供
		説明会が開催されたとき、かつ気象情報(新潟県糸魚川、長野県北部)の流域平均雨量が180mm/12h程度の予測となったとき	同上 ◎新潟地方気象台、北陸地方整備局、高田河川国道事務	所 電話もしくは合同web会議 流域ステージ移行のweb会議、メール配信 災害対策用機械等出動体制の確保	水防体制の再確認	流域ステージ移行の確認・共有(web会議、メール) 住民へ警戒呼びかけ 避難所開設準備 消防団への情報提供
	(約39時間前) ステージⅢ	MSM39時間先 流域平均雨量予 測情報の流域平 均雨量が 180mm/12h 程度の予測となっ たとき	新潟地方気象台、北陸地方整備局、高田河川国道事務	所 電話もしくは合同web会議 流域ステージ移行のweb会議、メール配信 リエゾン体制の確認 災害協定業者の体制確認 水門・樋門・排水機場操作員の体制確認	リエゾン体制の確認 災害協定業者の体制確認	流域ステージ移行の確認・共有(web会議、メール) 住民へ警戒呼びかけ 避難所開設判断 消防団への情報提供・体制確認 水門操作等の準備
防災行動	レベル2	氾濫注意水位		氾濫注意情報発表 防災体制(注意、警戒)への移行 氾濫注意水位到達に伴う情報伝達(水防警報等) 水門、樋門、排水機場等の操作 水防資機材の協力 出水時巡視	氾濫注意情報発表 防災体制への移行 氾濫注意水位到達に伴う情報伝達 水門、樋門、排水機場等の操作 水防資機材の協力	住民へ注意喚起 避難所開設準備 <mark>指揮本部立ち上げ</mark> ・災害応急対策準備 ・市民、報道機関等へ情報提供 <mark>樋門等の操作</mark>
	レベル3	避難判断水位	大雨警報(土砂災害·浸水害)、洪水警報発表(随時)	氾濫警戒情報発表 防災体制(警戒) への移行 避難判断水位到達に伴う情報伝達(水防警報等)	氾濫警戒情報発表 避難判断水位到達到達に伴う情報伝達 出水時点検、ホットライン	避難所開設 自治会長連絡 高齢者等避難 消防団水防活動
	レベル4	氾濫危険水位	記録的短時間大雨情報の発表(※随時)	氾濫危険情報発表 防災体制(非常) への移行 氾濫危険水位到達に伴う情報伝達(水防警報等) ホットライン、リエゾン派遣、災害協定業者連絡 防災エキスパート連絡	氾濫危険情報発表 ホットライン リエゾン派遣 氾濫危険水位水位到達到達に伴う情報伝達 災害協定業者連絡	ホットライン 自治会長連絡 避難指示 消防団避難広報、避難誘導
	レベル5 発生		首長ホットライン	氾濫発生情報発表 ホットライン 被害状況の把握、災害対策用機械等出動 被害状況、調査結果等の公表 調査委員会設置 応急復旧作業	氾濫発生に伴う情報伝達 ※被害発生の場合は高田河川国道事務所と同様の状況 把握・復旧作業にあたる)	ホットライン 避難完了、避難情報発令 緊急輸送路確保 外部支援要請 消防団退避完了

姫川流域タイムライン総括表 (案)

	警戒レベル5相当※(氾濫発生情報)			対応するものではない 警戒レベル 5 相当※ (373楽祭 年情報)	(光溢光生 軒以)	■1リガー情報の発表 (大雨特別警報 等) ・大雨特別警報の発表 ・大雨特別警報の発表 ・ 一個一位 ・ 一個一位	■国管理区間での氾濫発生に伴う情報 伝統 ・水防震機(状況)発表 ・水防震機(状況)発表 (対)(洪水子輸河川) ・水化子剤の提供(気象台、県、市町村 ・緊急速報メール	■興管理区間での氾濫発生に伴う情報 応達 ・氾濫発生情報発表 (状水子報河 ・別監 国からの氾濫発生情報の報道機関等 への伝達	■保管理区間での氾濫発生に伴う時報 伝達 ・氾濫発生情報発表(洪水予報河 川) ■国からの氾濫発生情報の報道機関等 への缶達		ı	ı	■遊離完了 ■遊離情報発売の終討(緊急安全確 (条) (本) (本) 上記書情報収集 (金) 上記書任日期切 (本) 上記書年日期別 (本) 上記書年日期別 (新文書/前報の発表 中別 (新文書/前報の発表 年別設置 ■ 次置発生情報の発表 年別設置 ■ 次置発生情報の発表 年別設置 ■ 1/15 「緊急安全確保」の発令	■ 漢國情報等等 ■ 建國情報等等等 (第) (第) (漢本) (漢國情報等等等性情報/ (董麗情報等等的 (董麗情報等等的 (董麗情報等等的 (董麗情報等等的 (董麗時報等等的 (董麗時報等等的 (董麗時報等等) (董麗時報等等) (董麗時報等等) (董麗時報等等) (董麗時報等等) (董麗時報等等) (董麗時報等等) (董麗時報等等) (董麗時報等等) (董麗時報等等) (董麗時報等) (董麗時報等等) (董麗時報》) (董麗時報等) (董麗時報》) (董麗時報	遊戲完了 書遊贈情報第令の核討 (緊急安全確 果) (東大等災害発生情報収集 ・遊氣情報的等的 (指揮本部)災害対策本部設置 (近壽在日間知 以壽先生情報の承表 上小51緊急安全確保」の発令
離板ステージIV (木化 上昇)	警戒レベル4相当※ (氾濫危険情報)			流域警戒ステージと ベル4相当※ 266略情報)	(ソビ海ブロ呼(自報)) 計量報を伝える	中級で広々の 中心が一番の発表 (土砂災書置所 情報発表) 土砂災書置 上砂災書置 市砂災書置 市砂災書置 市砂災書置 市砂災電置 市町 市町 市町 市町 市町 市町 市町 市	■ 防災体制(非常) への移行 に単子情報伝達 ・水防響機(対抗)発養 ・水防器機(対抗)発養 ・水位予測の提供(気強力・ 用 面 面 面 面 面 面 面 面 面 面 面 面 面 面 面 面 面 面	県管理区間での氾濫危険水位到達 (半分階報伝達 (半分階報の (対策を) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1	■異管理区間での氾濫危険水位到達 「华」所報応達 ・氾濫危険情報発表(洪水予報河 ■国からの水防護報・国洪水予報の伝 ■国からの水防護報・国洪水予報の伝 ・一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一	- 土砂災書器板情報の発出(気象台 と協働) - 土砂災難器板情報の発出(気象台と協働)	■土砂災書警戒情報の発出(気象台 と協働)	1	第令の核討(遊離指示) 亨情報収集 各計期所 是結 上 整 工程 周加 等住 民 周加 可 在 原 通 的 的 的 的 的 的 可 的 的 可 的 的 可 的 的 的 的 的 的	■ 連携機構格殊分の核対(避難指示) - 河川水位等 情報収集 ・ 遊離情報客 中判断 ・ 指定遊離所開設指示 ・ 自治を選進所 開設指示 ・ ローンスールを信義性 医周刈 ■ レベルイ 遊離指示 Jの発令 ■ ホットラインの実施 (以後、継続)	■選輯権務第令の終討(通路指示) 一週間(公益 報報取録 一週間 1月 1月 1日
医髓液结	(水位 響成レベル3相当※ (30監警戒情報)	所)で水防団冷機水位に到達したとき ととを、各機関で確認	j	修行の時期は、各自治体ごとに発表される情報に基づなめ、 響板して134日当※ (13業業が出場の)	(水流 美地) 野野の発表 支援や溶難行動を促	用的企业的表文及 Cutted 中国企业 Tunger T	■防災体制(廉税) への移行 ■国管理区間での遊離判断水位到達 に件予制機反議 ・心於議報(仗犯)與表 ・心溶鹽 戒情報發表(讨水予報河川) ・・分位下割の提供(気象台、県、市町村 等)	■ 県登理区間での遊離判所水位到達 に伴う情報伝達 ・13 22 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3	■ 県管理区間での遊離判断水位到達 に伴う情報に達 ・12整置 売情報発表 (洪水子報河 	■防災体制(警戒) への移行 ■比砂災害警戒情報の検討 防災体制(警戒) への移行 ■比砂災害警戒情報の検討	■防災体制(警戒) への移行 ■土砂災害警戒情報の検討	■防災体制(警戒)への移行		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	■遊燈情報発売の終討(高齢普等遊 河川)水位等情報収集 ·遊製情報発令判断 ·通常企變所開設指示 ·自治会長雖將 ·メール配信等住民周知 (以後、雖然) ·東四處告別用能投入證據(為 ·東四處告別用能投入選繫情報を后 · 東四處告別用能投入選繫情報を后 · 東四處告別用能投入選繫情報を后 · 國別處告別用能投入選繫情報を后
	水的団待機水位~警戒レベル2相当※ (氾濫注意情報)	溶癌内の水位觀測所(山本水位觀測所); 溶酶中现場対応が必要な水位に適したこと。	が、各自治体で水 さり、各自治体で水 を意識した防災対	※警戒レベルの手 ※警戒レベルの手 ※ 一次の可待機を位か (171条 注音・情報)	(光海社長)自殺) 3象の変化に対応して危機威を共有	高知り至により込むして日本職を大年 日 1 カリケー情報の発表(注意報発表) 大馬・大米大連線の発表(維続的に発表さる 大馬・大米大連線の発表(維続的に発表さる (名をもの) 日 2 日本 2 日本 2 日本 3 日本 3 日本 3 日本 3 日本 3 日	■防災体制(注意、警戒)への終行 ■国管理区間での氾濫注意水位到達 に科学用能行達 ・化防薬機(作機、出勤)発表 ・心整注意情報発表(抹水予報河川) ・水位予測の提供(気染台、県、市町村 等)	■ 防災体制への終行 ■ 県管理区間での氾濫注意体体到達 に伊予報を記載 ・幻濫注意情報発表(洪水子報河 月 11) ■ 国からの水防警報・国洪水子報の伝 ・水防警報の報道機関等への伝達 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	■防災体制への移行 ■原型区間での氾濫注意水位到達 に伴う情報伝達 ・氾濫注質情報発表(決大子報の 111) ■国からの水防罐報・国洪水子報の伝 達 ・心濫注電情報の報道機関等への伝達 ・心濫注電情報の報道機関等への伝達	1 1	ı	ı		■河川水位情報の収集・組織内共有 ●財油 ●水位が水防団待機水位に違し記案 注意水位を超える恐れがあること、又は 水雪の発生が予想されび第、対応を行 ●連難所開設準備、住民への注意喚 起等の核対 電信指本部以害応急対策(救助・ 医療・能之)準備 ■(指揮本部以害応急対策(救助・ 電(指揮本部)(基底急対策(救助・ 電(指揮本部)(基底急対策(救助・ 電(指揮本部)(基底等(救助・ 電(指揮本部)(基底等(投助・ 電(指揮本部)(基底等(投助・ 電(指揮本部)(基底等(投助・ 電(指揮本部)(基底等(投助・ 電(指揮本部)(基底等(投助・ 電(指揮本部)(基底等(投助・ 電(指揮本部)(基底等)(表述。 電(指揮本部)(基底等)(表述。 電機関水南近岸級明片内・市民・報 連機関へ情報提供(以後、継続)	■河川公位指輪の収集・組織内共有 の開始。 ■水位が水的団待機水位に進し氾濫 注意水位を超える恐れがあること、又は 水書の発生が予想されが第、対応を行う ■遊鐘所開設準備、住民への注意喚 起等の核材 国情和本部に落成が実施の 医療・確之 準備 【指揮本部に移取り下的・市民・報 (指揮本部に移取り下的・市民・報 道機関の「特報提供(以後、継続)」 ■遊鐘所が類(以後、継続)
海域警戒ステービー	-	新 MSM39時間先流域平均雨量予測情報の新潟県条 (ランス 活場業成グーンIICする適的 活成中の雨量予測情報等の提供 防災対応を開始する	-	警戒すべき領域・時間帯と現象の規模間を伝える	%97年前級1-時間前で兄弟の必候間を伝える 1/リプー情報の発表 海旋路図(東次と日先までの予報) 三版元の影光、予報等) 建設も同様ので名と子想される時に業報総 建設の開業が日光までに予想される時に業報総 等級のの開業が日光までに予想される時に業報総 は保地日会議によりを人元イン予點、業成ステージ材 (は歴史方整備局、高田河川国道事務所との電話 (は歴史方整備局、高田河川国道事務所を確認 1月が1日会議によりを人元イン予點、業成ステージ材 に歴史方整備局、高田河川国道事務所の電話 に関する新潟県気線情報(※随時) - 海に関する新潟県気線情報(※随時) - 海に関する所潟県気が指線(※随時) - 海に関する所潟県気が指線(※随時) - 海に関する所潟県気が指域。 当風、大雨がおり、砂湖県に送車が予想されるとき。) - 第7年記録のの機計・開催 当外が発出れるとき。 第7年記録のより、新潟県に送車が予想されるとき。) - 183、大雨記録の場所電加 - 183、大雨記録の場所電加 - 183、大雨記録の場所電加	■派域タイムラインの管理 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	■消域警戒ステージの確認・共有 ■ 市町村への支援 ・市町村への情報提供	■流域警戒ステージの確認・共有■ 市町村への情報提供・市町村への情報提供	・流域警戒ステージの確認・共有・活域警戒ステージの確認・共有・活域警戒ステージの確認・共有	■流域警戒ステージの確認・共有	■ 流域警戒ステージの確認・共有	庁内体制を強化し、感染症対策を踏まえた避 動所開設・運営に早期遊離の呼びがりを目指 す 事流域論成スージの確認・共有 電火位の確認 電口開設。依相制 電子に取りがが、情報提供 電子に入りが、機能提供 電子に入りが、機能提供 電子に入りが、機能提供 電子のではありが、 電子のでは、 電子のでは、 電子のでは、 電子のでは、 電子のでは 電子のでは できたい。 できたたい。 できたい。 できたたい。 できたたい。 できたたい。 できたたい。 できたたい。 できたたい。 できたたい。 できたたい。 をきたな、 をきたい。	併 発露の判断 打合せ	■游域警戒ステージの確認。共有 本化の確認 = 早期等本体制模等 = 住民への警戒呼びがけ・情報提供 ■ 遺類所開設で同功・情報提供 ■ 遺類所開設で同けた打合せ ・情報収集、遊鐵所開設に同けた打合せ
名タイムラインステージの移行基準設定 荒域警戒ステージ (中国・前線を測)		気像台高版的場合が開催されたとき、かう気候情報(新 為異条統川、長野県北部)の高域平均新量が1800m 1.2 1.2 1.2 1.2 1.2 1.3 1.3 2.3 2.3 2.3 2.3 2.3 2.3 2.3 2.3 2.3 2	のできない。 基礎成分一ジョでもの通知 の、大雨節用金の情報、雨量予測情報等の提供 災対応の方針を決定する	ンステージの行動内容	大雨に対する警戒時期を周知し、各機関の体制の切り	2を仮す 191万 一情秘の発表 三級記念に「第25日先末での予報) 三級記念よび24時間以内に台風になると予想される に気圧の姿況、予報等) 1915 一部 1916 一部	 ■ 派域タイムラインの管理 ・北陸也方盤偏局、気象台との電話もしくはWEB会議によりタイムライン発動・業成ステーン移行のWEB会議及びメール配信 ・流域警戒ステーン移行のWEB会議及びメール配信 	■ 涼域線成ステージの確認、共有 ■ 気象情報の収集 ■ 市町村への海報提供 ・市町村への海報提供	■游域警戒ステージの確認・共有 ■ 気象情報の収集 ■ 中町 村への支援 ・市町 村への情報提供	・消域器成プテージの確認・共有■消域器成プテージの確認・共有■消域器成プテージの確認・共有	■消域警戒ステーツの確認・共有	■流域警戒ステージの確認・共有	中期職成体制を構築し、感染症対策も考慮し た避難対策方針を決定する ・	■ 早期電放在制準備・指換 ■ 中期電放在制準備・指換 ・情報収集、庁内の情報社有 ■ 住民への離成す有 ・過報所開設準備 ■ 要配慮者利用施設対応(以後、継続)	■洗滤器成大=50階段、共有 中間器成体制備。構築 ・情報収集、庁内の情報共有 ■住民への離成中6分分・情報提供 減速所開設準備 ■更記慮者利用施設対応(以後、継続)
名タイムライ. 流域離成ステージ I (台閣・趙黎を選)	-	台風麗戒区域に台風5日先の予測円が含まれ、かつ早期注意情報 (3年級の可能性)「中」以上が発送されたき れたとき 早期注意情報 (5~3日先の警報級の可能性「中」以 上の発表情報)	の状況に留慮することを伝達する 液域離成ステーツ1とする通知 自風速能予測情報、早期注意情報(業務級の可能 性)等の提供 次書の危険性に注意を同げる	各9445	1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1		■ 気象情報の収集・組織の共有の開始	・演技器 株 ステーシの確認・共有 ■ 気象付着の収集・組織の共有の開始 ・ 気象がおびまが3の収集内容・伝達の確認 ・ 出水時及び災害務生時の国交省等へが情報伝達事 項、連絡で等の確認 ■ 市町村への情報提供 ・ 市町村への情報提供	■消域警戒大戸→2の確認・共有 ■ 気象情報の以集・組織力共有の開始 ・ 災象が以びお状の収集内容・伝達の確認 ・出か場及び投資生時の国交省等への情報伝達事 項、連絡符等の確認 ■ 計用がへの支援 ・・市西村への情報提供	派域警戒ステージの確認・共有「気象情報の収集・組織内共有の開始「流域警戒ステージの確認・共有「流域警戒ステージの確認・共有「気象情報の収集・組織内共有の開始	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	■流域警戒ステージの確認・共有 ■気象情報の収集・組織内共有の開始	本制の確 本制の確 開始	积	所述業元ステージの確認・共有 金潔明 特の収集・指摘の対すの開始 ・情報収集・行うの情報共有 ■ 庁内連絡体制の構築・確認 ■ 庁内連絡体制の構築・確認 単 住民への最祝呼びがす重進銀所開設事前準備
流域タイムラインステージ	淵表アステの終行	台風性 前線性 K位情報 目的	ᄜ	響成レベルの移行	inte	- Tage (4)	■ 2.2 短回三位田曜 2.2 短回三位田曜 2.3 短回三位田曜 3.3 短回三位田曜 3.5 近期 3.5 元	ドンガー番 総発出 河川・青 米魚川地域振 観を第 関節地域整備 信する 郎	及野外原建設的 河川(開	松本砂防事務 所 新潟県糸魚川 地域振興局地	書のJス Maxaman (1977) が Maxaman (1977) が Maxaman (1977) が Maxaman (1977) を 発信す 長野県建設部 る 砂防課	長野県姫川砂防事務所	が ・	住民の 遊離情 結び付付 報第出 情報取 災体制 白馬村 養素 一	小谷村

姫川流域タイムライン総括表(案)

		響成レベル 5 相当※ (氾濫発生情報)						■ 聚合值旧、填防調查委員会設置 ■ 波雷为採用機械等出動 ■ 江電为採用機械等出動 ■ TEC-FORCEの活動 ■ 市産事代形、調查結果等の公表 ■ 広急復旧作業	- (被害発生の場合は高田河川国道 事務所と同様の状況把握・復旧作業に あたる)	- (被害発生の場合は高田河川国道 事務所と同様の状況把握・復旧作業に あたる)		1			■遊離光了 ■ 禁急機能器の過行機保 ■外部支援要請 ■消防団協裁等了	■遊戲光了 ■ 聚急壽法BO與行聲保 ■ 少的交換要請 ■ 並的四級徵完了	● 施製売■ 禁急部及の適力確保■ 夕出火振製器■ 単的印函数形了
74.52		警戒レベル4相当※ (氾濫危険情報)		7)で水防団待機水位に到達したとき			ድ	リエゾンの所護 - 災害協定業者連絡	■ リエゾンの所護 ■ 災害協定業者連絡	- リエゾンの示慮 次書 協定業者連絡	1	1	1	1	- 消防団強雄元禄、避難務導 ・ 消防団活動への注意喚起(命を守 が行動の確康)	消防団強艦広報、遊艦誘導 消防団活動への注意物起(命を守 行動の衛鹿)	消的団態組広報、遊離誘導 消防団活動への注意域型(命を守 行動の徹底)
光編製 規	(水位上昇) (水位上昇)	警戒レベル3相当※ (氾濫警戒情報)			ことを、各機関で確認		同士の支援に努めるとともに人命確保に	■出水時点核(巡視) ■CCTVに3名監視強化 ■応援の要請(防災エキスパート)	1	ı	I	ı	ı	ı	■消防団巡視・水防活動・広報活動・ 遊職結準等開始 ■ 無象・水位データ等の確認 ■ 無力公式 ■ 被害情報等の収集(以後、維結) ■ 報告情報等の収集(以後、維結) ■ 緊急輸送超の状況確認(響戒レベル 4相当て機絡)	■ 消防団巡視・水防活動・広報活動・ 遊離誘導等開始 ■ 気象・水位元 分等の確認 電場回の招集 ■ 被置情報等の収集(以後、継続) ■ 聚設國所の后等対応(以後、継続) ■ 緊急輸送数の状況確認(離成/以上 ■ 緊急輸送数の状況確認(離成/以上 ■ 外部文援要請の核討(離成/以上 和当まで継続)	■ 消防団巡視・水防活動・広報活動・ 遊離誘導等開始 ■ 原象・水位ブーク等の確認 ■ 職員の招集 ■ 被書情報等の収集(以後、継続) ■ 被過時ののた急対応(以後、継続) ■ 報告地と始の状況を引起(警戒レベル 4相当まで継続) 目 男神文援聖請の検討(警戒レベル4 相当まで継続)
		水防団待機水位~警戒レベル2相当※ (氾濫注意情報)		流域内の水位観測所(山本水位観測所)で水防団将機水位に到邊したさ	避難や現場対応が必要な水位に達したことを、	(伝達なし、各自治体で水位等を判断)	上下派を鬱爛した防災対応を実施する 確実な水防・復旧活動の実施と関係機関同士の支援に努めるともに人命確保に努める	■79川14位情報の収集・組織内共有の開始 ■水門、福門・排水機場等の操作 ■水門・格門・開水機場等の操作 ■水筋海機材の協力・災毒対策用機 電水筋海機材の協力・災毒対策用機 器等出動(市町村からの要請)(以 後、継続)	■河川水位情報の収集・組織内共有 の開始 ■水門、値門、排水機場等の操作 ■水防資機材の協力(市町村からの要 請別・以後、機能 ■上砂災主整 本情報の発力(市町村からの要 当中町村に確認をする(以後、線誘) ■現地状況把護(以後、線誘)	■河川水位情報の収集・組織内共有 − の開始・	■河川水位・土石流情報の収集・組織 内共有の開始 ■現地状況把握(以後、継続)	■河川水位・土石流情報の収集・組織 内共有の開始 ■現地状況把握(以後、継続)	■河川水位・土石流情報の収集・組織 内共有の開始 ■現地状況把握(以後、継続)	■河川水位・土石流情報の収集・組織 内共有の開始 ■現地状況把握(以後、継続)	第3月11分位所每000集。組織力共有 高额等的操作 實施等的操作 實施及為一次的未問設圖 實施及的一次的,但很 實施的回转數。 华爾一出數 一部的回往數 一次兩一生,在 一次的一位。	■ 河川水位南銀の収集・組織内共有 の開始	■河川水位指報の以集・組織内共有 の開始 ■ 編門等の操作 ■ 編成本部・状仿本部設置 ■ 消防団待機・準備・出動 ■ 消防団活動 ・待機・準備・出動 ・待機・準備・出動
电影 川下书额书书打	(雨量予測)	-	MSN39時間先派域平均兩量予測情報の新潟県米 魚川、長野県北部での添域平均雨量が180m/12h 程度の予報となったとき	MSM39時間先流域平均雨量予測情報の新潟県糸 角川、長野県上部での流域平均雨量が180m/12h 程度の予報となったとき	- 24	流域警戒ステージ皿とする通知 流域平均雨量予測情報等の提供	防災対応を開始する 体制を強化し、早期に警戒を要する箇所も含めた危険 個所の確認を開始する	リエソン体制の確認 ■災害協定業者の体制確認 ■水門・循門・排水機場操作員の体制確認		■流域器成大5—20種路、共有 平的体制的向所能 (最持一人員-報報機器) の再確認 ■1工分分析制の確認 ■2工分分析制の確認 ■次門・組門・共校機場件間の体制確認 ■3が形式に2いて情報発信(以後、継続) -SNS等で情報の発信	■流域警戒ステージの確認・共有 ■防災対応の連携調整	■流域警戒ステージの確認・共有 ■防災対応の連携調整	無域機成之テージの確認・共有所災対応の連携調整	■済域警戒ステージの確認・共有 ■防災対応の連携調整	■消域腦液次予一%の確認、共有 ■ 消防川、依据物品核業備 ■ 消防回への傳報提供、運絡体制の確認、資機材等 の業・備 ■消防回への活動体制の再確認と指示 ■ 消防回への活動体制の再確認と指示 ■ 水門操作等の準備	■消域業成大予一50種間。共有 ■河川、水路等点核準備 ■河町の心情報提供、連絡体制の確認、資機対等 の準備 ■消防団への活動体制の再確認と指示 ■消防団への活動体制の再確認と指示	高海域警戒另下一岁的確認。共有 ■河川、水路等点後準備 ■消防団への情報提供、通路体制の確認、資機材等 ■消防団への活動体制の再確認と指示 ■消防団への活動体制の再確認と指示 ■消防団への活動体制の再確認と指示
各タイムラインステージの移行基準設定	派域=版ペケーンエ (台風・前線・雨量予測)	_	気象台台風影明会が開催されたとき、かつ気象情報(新 湯県糸食川、長野県北部)の流域平均需量が180mm // 1/1所置をなったとき(12mm/分割値が、手できない場合 には、気象母発表の気象情報の24mが関係を置(上超)を代用)	前線による大南説明会が開催されたとき、かつ気象情報 (新潟県糸魚川、長野場北部)の消域平均雨量が 180m/12)相度となったとき(12)予楽値が入手できな い場合は、気象台発表の気象情報の241予規降水量 (上越)を代用)	- 予想される雨量が流域に災害をもたらすか判断し、伝達する	流域警戒ステージエとする通知 台風・大雨説明会の情報、雨量予測情報等の提供	防災対応の方針を決定する 関係機関・外部組織とも危機感の共有を図り、今後の 対応方針を決定する	■災害対策用機械等出動態勢の確保	- 流域機成大下-シの確認・共有 ■ 大格木制の再確認 ・ (資材・人員・観測機器)の再確認 ■ 木位・雨量・カメラの機能状況確認	■消域職扱ステーツの確認・共有 また体制の再確認 ・(資材・人員・韓別機器)の再確認 ・(資材・人員・韓別機器)の再確認 ・大位・雨量・カメラの機能状況確認	■消域警戒ステ-ジの確認・共有 ■水位・雨量・カメラの稼働状況確認 ■防災対応の連携調整	■流域警戒ステージの確認・共有 ■水位・雨量・カメラの稼働状況確認 ■防災対応の連携調整	■抗域警戒ステージの確認、共有 ■水位・雨量・カメラの稼働状況確認 ■防災対応の連携調整	■流域警戒ステージの確認・共有 ■水位、雨量・カメラの稼働状況確認 ■防災対応の連携調整	■対域職元又于-Vの確認・共有 ■ が二、大路等山後挙載 ■ 第55回(大路5回)への情報提供	 派域離成スージの確認、共有 河川、水路等点検準備 運防団(水路)への情報提供	-
各タイムライ. ************************************	・場合をステーシュ (台風・前線予測)	ı	台層等飛区域に台風5日先の予測円が含まれ、かつ早期法意情報 (筆稿級の可能性) 「中」以上が発表されたとき	早期注意情報(5~3日先の警報級の可能性「中」以上の発表情報)	ー 台風進路、前線の状況を見て流域として警戒し、今後 の状況に留意することを伝達する	流域警戒ステージ 1 とする通知 台風進路予測情報、早期注意情報(警報級の可能 性)等の提供	災害の危険性に注意を向ける 組織内の人具体制の開撃を図り、水防団等関係者と も危機原を共有し、資機材等の準備・点検 解開けまる		· 市域議 成之下一字の確認,共有 「氣象情報の収集,組織内共有の開始 「本情に対する所能等的例 「氣象庁の所結果の衛龍の開始 「氣象庁の所結果気象情報の博報の確認 「主事の場の状分離認 一事の確認所表現 一年の確認 一年の確認 一年の確認 一年の確認 一年の確認 一年の確認 一年の確認 一年の確認 一年の確認 一年の確認 一年の確認 一年の確認 一年の確認 一年の確認 一年の確認 一年の確認 一年の確認 一年の確認 一年の 一年の 一年の 一年の 一年の 一年の 一年の 一年の	 新地盤服式テーシの確認・共有 大大衛に対する配備本制の問始 大衛に対する配備本制の問題 原本限度等の同様提供の確認の開始 完集庁の所認見、監察庁の所認度 工事等場の以外が確認 水が休期の確認 ・(資材・人員・観測機器) 	■流域警戒ステージの確認・共有 ■気象情報の収集・組織内共有の開始 ■大雨に対する配備体制の周知	■流域警戒ステージの確認・共有 ■気象情報の収集・組織内共有の開始 ■大雨に対する配備体制の周知		・流域警戒ステージの確認・共有・気象情報の収集・組織の共有の開始土大雨に対する配備体制の周知	■ 消極器 成为一岁の確認・共有 ■ 繁华情報の民業・指題の共年の開始 ■ 謝防団(水防団)、小の情報提供 ・市投所名 対策郎、消防団等、の情報共有	· 流域警戒/万一/20確認, 共有 ■ 気象情報の収集, 組織内共有の開始 清防団 (外防団) への情報提供 市役所名対策部、消防回等への情報共有	■游域警戒大于~>の確認,共有 ■克染情報の以集、組織内共有の開始 ■消防団(〈称原団)への情報提供 ・市役所各対策部、消防回導への情報共有
	流域タイムラインステージ	警戒レベルの移行	公 公 公 会 所	行語準 報 前線性	- 水山 神歌 日的 ステージ移行時の	5章内容 伝達情報	行動目標行動目標	河国三区田旭	新活與米(他) 地域振 Wm 地 域整備部	長野県大田建設事務所	松本砂防事務所	広域被 新潟県米魚川 書が親 新潟県米魚川 定される 地域振興局地 水防・復 場合の 域整備部(砂	大防対 長野県建設部	事に関する現 長野県姫川砂場対応 防事務所	※像川市	田社	小谷村

8. 関川・姫川流域図

